

《ホースシューズ》

・専用のホースシュー（馬蹄）をコートの端から杭に向かって投げあうゲームです。

写真



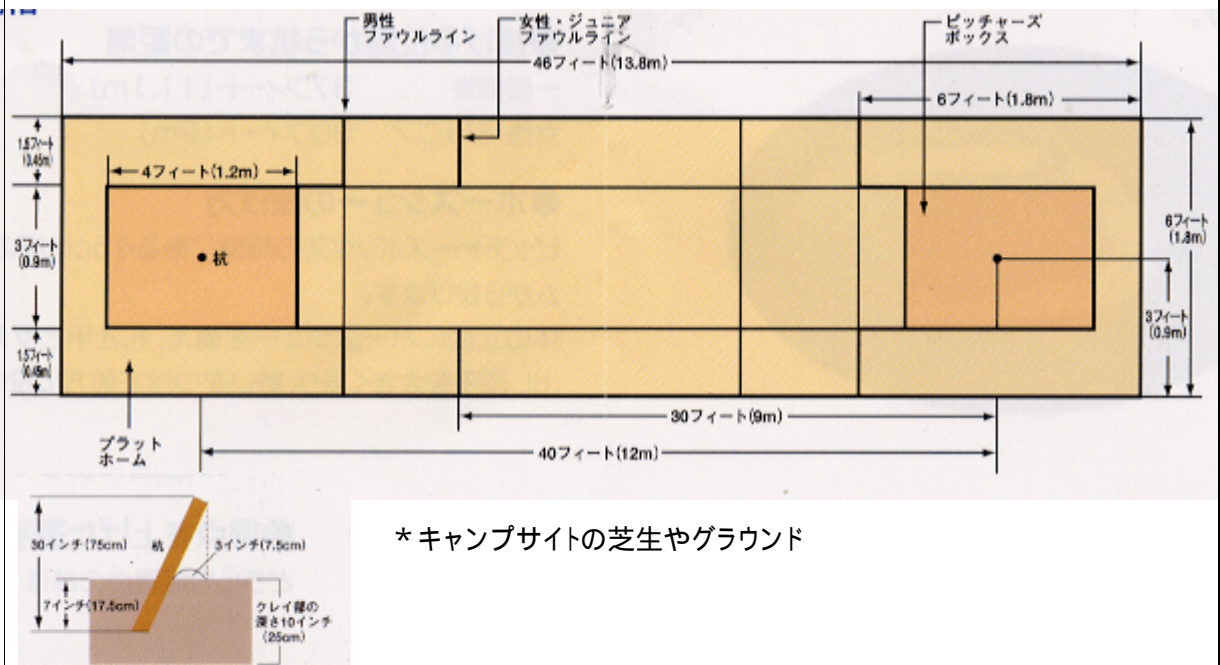
起源

・歴史は古く、紀元前2世紀頃にはすでに西アジアやヨーロッパで行われていた。アメリカでは 1914 年に全米ホースシューピッチャーズ協会が設立され、毎年世界大会が開催されている。
・日本では 1991 年日本ホースシューズ協会が設立され、年 1 回のジャパンオープンの開催とともに世界大会にも参加している。

人数

・1 人対 1 人、2 人対 2 人、3 人対 3 人

場所



進め方

・コインまたは馬蹄を投げて、先攻・後攻を決める。以後の同じ相手による試合では、前回負けたほうに選択権がある。
・1 イニングに各選手が 2 回ずつ馬蹄を投げる。プラットホームに入り 30 秒以内に投げなくてはならない。
・ポイントは、各選手が 2 投ずつした後、馬蹄の位置によって数える。得点の多いほうが次のイニング先に投げる。どちらも無得点のときは前のイニングに準ずる。
・カウントオール方式では、20 イニングで行う。

勝敗の決め方

・カウントオール方式では、イニングごとに馬蹄を投げ終わったら杭から半径 15cm 以内に入った馬蹄を 1 点と数える。
・20 イニング(1 人が 40 本投げる)の合計得点で勝敗を決める。

その他

・プラットホームは全イニング固定。
・ゲームはキャンセル方式とカウントオール方式があるが、カウントオール方式のほうが進めやすい。
・対戦相手のプレーを妨害するような行為はしてはならない。
・馬蹄が重いので、投げるときに周囲に注意すること。